

図書館だより



令和6年9月号
一条中学校図書館

みなさん夏休みはどのように過ごしましたか。家庭で読書を続けることはできましたか。

夏休み中の学校図書館は、夏休みらしいのんびりとした雰囲気の中で、夏休み中に読む本を借りに来る人や、学習に取り組む人の姿が見られました。



蔵書点検による学校図書館お休みのお知らせ

9月17日（火）～10月1日（火）

本を点検するため、9月17日から約2週間、学校図書館がお休みになります。

お休み中は、図書館に入る、本を借りる、本を返すことはできません。

9月13日（金）までに、朝の読書の時間などに読む本を借りておきましょう。

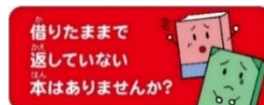
9月2日～13日に借りた本は、蔵書点検が終わって開館したら返却しに来てください。



てんげんちゅう
点検中



夏休み前、夏休み中に借りた本の返却について



夏休み前、夏休み中の読書用に借りた本の返却期限は、8月30日（金）までです。

返却期限を過ぎている人には、学校図書館からお知らせを出しました。

お知らせが届いた人は、速やかに返却してください。



宮っ子チャレンジ

6月17日（月）～20日（金）の4日間、本校の2年生数名が、社会体験学習「宮っ子チャレンジ」
として、学校図書館で図書館業務に関する活動を体験しました。

体験内容は、書棚の整理、本に付いているラベルの貼り替え、カウンターでの本の返却処理、パソコンのソフトを使ってしおりの作成などを行いました。本1冊1冊の分類表示を確認して、ラベルを貼り替えることや、正しい場所に本並べることは、丁寧さや根気強さが必要になりますが、図書館の使いやすさに直結する、欠かすことができない仕事です。生徒たちは協力しながら一生懸命取り組んでいました。



ラベルの貼り替えをしています。古いラベルをはがして、新しいラベルを作り、定められた位置に丁寧に貼ります。

しおりを作成しています。デザイン終了後、紙に印刷してハサミで切り取ります。



完成したしおり。素敵です。



分類表示や書棚の位置を確認して、本を並べています。

校内読書週間「夏の読書祭り」のようす

7月8日（月）～26日（金）に行われた校内読書週間「夏の読書祭り」のようすを紹介します。

読書スタンプラリー



図書委員会の提案で、対象の分類の本を借りスタンプを集めると、しおりをプレゼントする「読書スタンプラリー」を行いました。期間中はスタンプラリー用紙を片手に参加している生徒の姿が見られました。スタンプラリー効果で、「あまり手に取らない分類の本を読んでみた。」という生徒もいました。

今回のしおりは、6月に一条中学校図書館で、社会体験学習「宮っ子チャレンジ」を行った2年生が、パソコンのソフトを利用してデザインを考えてくれたしおりをプレゼントしました。

しおりのデザインが素敵だと好評でした。しおりにつけるリボンも、2色から選ぶことができるようにしました。



おはなし給食



＊一条地域学校園（一条中・西小・西原小・宮の原小）連携企画

7月18日（木）に一条地域学校園の連携として、本に出て来る料理が給食で登場する「おはなし給食」を行いました。園共通の本として、『パンどろぼう』柴田ケイコ（KADOKAWA）と、『パンダのおさじと フライパンダ』柴田ケイコ（ポプラ社）の2冊で行いました。

給食の時間には、図書委員会で作成した、本や給食に出ている料理を紹介する動画などを放送しました。学校図書館には関連本を集めた「おはなし給食」コーナーを設置しました。



給食では、作中に登場する「山形食パン」、「パンダチーズハンバーグ」が登場しました。食パンに合わせて出していた「ごまクリーム」で、パンどろぼうの顔を上手に描いて食べている生徒もいました。楽しい給食の時間になりました。



「おはなし給食コーナー」では、本の続きを読む生徒も。

あたらしいほん

夏休みも終わり、1学期も後半に入ってきました。心と体の調子はいかがでしょう。

今回は新しく入った本の中から、リフレッシュ時に読みたい本を紹介します。



緊張や不安を感じたとき、人気キャラクターリラックマと一緒に、メンタルの不調をセルフケアする方法を取り入れてみませんか。リラックマのかわいいイラストだけでも癒しになりますが、心理カウンセラー監修の言葉やワークで、ゆるりと心をほぐしてみてください。
『リラックマの「ごゆるり」セルフケア』根本裕幸（リベラル社）14ネ



頭の体操や気分転換としておすすめしたいのが、ちょっとした発想の転換で正解を導くパズル問題です。全ての問題にヒントがあるので、なかなか正解にたどり着けないときにも挑戦してみたい気持ちになります。1人でも友達や家族と一緒に解いても楽しめます。

『すこし するいパズル 1～3』たつなみ（アリス館）79タ



1話を54字で表現した超短編小説として人気の「54字の物語」シリーズの新刊の舞台は「不思議なレストラン」です。さまざまな味わいの小説が90話載っています。解説を合わせて読むとさらに味わい深く楽しめます。超短編小説でありながらも想像が膨らみます。

『54字の物語 11』氏田雄介（PHP研究所）913ウ